



<http://asifa.jp>

10月28日はアニメーションの日

ASIFA
АСИФА

60
years

11月26日(木)
19:00 ~ 20:10
(18:40 開場)

野々市市情報交流館
カメラア ホール檜

19th
International
Animation Day

入場無料

要・事前申込

国際アニメーション・デー 2020 in 野々市
世界のアニメーション上映 -広島国際アニメーションフェスティバル受賞作より-

お問合せ・お申し込み：野々市市情報交流館カメラア Tel: 076-227-6200 石川県野々市市三納 1-1

主催：公益財団法人 野々市市情報文化振興財団、国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-JAPAN) 協力：広島国際アニメーションフェスティバル



10月28日は、フランスのエミール・レイノー (Emile Reynaud 1844 ~ 1918) が、1892年、パリのグレヴァン博物館にて、自ら発明したテアトル・オブティック (視覚劇場) を用いて、世界で初めてアニメーションを一般公開した日とされています。国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA、本部: フランス・アマシー市) は、アニメーションアートの普及と発展を目的として、この記念すべき10月28日を「国際アニメーション・デー」と決めました。2002年から、各国のASIFA支部を中心に、毎年10月28日およびその前後、世界中で「同時に」アニメーションの上映や関連の催しを行ない、お祝いをしています。日本でも2005年からASIFA日本支部 (ASIFA-JAPAN) が主体となってこの企画に参加しており、今年は京都と野々市で「国際アニメーション・デー 2020」を開催いたします。毎年バラバラまんがコンテストを実施している、ここ、野々市では今年で6回目となる開催! 世界各国の個性豊かな短編アニメーションを上映します。アニメーションが持つ豊かな表現力やメディア芸術の魅力に触れてください。

世界のアニメーション上映 - 広島国際アニメーションフェスティバル受賞作より ○19:00 ~ 20:10



(1) ザ・メモリーズ・オブ・ドッグズ 【第11回大会 木下蓮三賞】

監督: シモーネ・マツシ

2006年 / 8分02秒 / イタリア

岩壁に頬をこすりつけ、僕は壁の裂け目から外を見る。



(2) フラックス 【第9回大会 国際審査委員特別賞】

監督: クリス・ヒント

2002年 / 7分40秒 / カナダ

人生、アントロピー、そして、とどまることのない時の流れの中で、ある一家の二世にわたる平凡なやりとりや出来事と自然の摂理を描く一風変わった作品。



(3) スクリーン・プレイ 【第5回大会 カテゴリーF1位: 5 ~ 15分】

監督: バリー・J・C・パーヴス

1992年 / 11分10秒 / イギリス

ドラマチックな青春時代の思い出にしたいに耽溺していく老いた日本人男性を多重構造で描く作品。



(4) ドント・レット・イット・オール・アンラヴル 【第12回大会 国際審査委員特別賞】

監督: サラ・コックス

2006年 / 2分05秒 / イギリス

糸の端をひっぱってはだめ・・・繕って・・・



(5) ベトン 【第12回大会 優秀賞】

監督: アリエル・ベリンコ、マイケル・ファウスト

2006年 / 5分59秒 / イスラエル

軍隊で繰り返されるお決まりの日々を乱したのは、高い塀のむこうに現れた黒い罫。澄み切った青空にうかぶ罫にいらだった軍隊がとった解決は・・・。



(6) ザ・ハウス 【第14回大会 コンペティション作品】

監督: ダーヴィット・ブオブ

2011年 / 6分29秒 / ドイツ

少女の願いは祖母の面倒を見ることだが、叔母と母は許さない。解決策はただ一つ。



(7) 丘の農家 【第3回大会 ヒロシマ賞】

監督: コンスタンティン・ブロンジツ

1988年 / 17分40秒 / イギリス

農園の一家は腹をすかせた家畜の餌付けに忙しい。農園は人里離れ、しかも周りの自然は粗暴で危険に満ちている。



(8) ネコを埋葬するネズミを見た 【第14回大会 グランプリ】

監督: ドミトリー・ゲラー

2011年 / 5分31秒 / ロシア、中国

物語はロマンティックに幕を開け、喜劇に様変わり、さらにはスリラーへと展開し、最後は悲劇的に幕を閉じる。